

学科・専攻名		健康栄養学科 食物栄養専攻		到達目標に対応する授業科目		1年		2年		3年		4年					
組織のミッション		到達目標1(綱)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	春		秋		春		秋				
		ミッション(教育目標)・到達目標		授業科目			科目名	必修	単位	科目名	必修	単位	科目名	必修	単位		
<p>食と栄養を中心に基礎的事項から実社会に対応できる応用力まで、充分な知識・技術を修得できるように教育を展開し、以下に示す能力を身につけて卒業できることを約束します。</p> <p>＜食物栄養専攻＞ 教育現場での栄養教育をはじめ、給食施設での栄養管理や衛生管理、食品関連企業での研究・開発、企画など、食に関わるあらゆる分野で活躍できる人材を育てます。</p>	<p>栄養士の活動領域について理解する。また、以下の学科専攻科目を学ぶための基礎を理解している。</p> <p>栄養士の活動領域について理解している。</p> <p>学科専攻科目を学ぶための基礎を理解している。</p> <p>社会・環境と健康；人間や生活についての理解を深めるとともに、社会や環境が人間の健康をどう規定し左右するか、あるいは人間の健康を保持増進するための社会や環境はどうか、あるいは社会や環境と健康の関わりについて理解している。</p> <p>正常な人体の仕組みについて、個体とその機能を構成する遺伝子レベル、細胞レベルから組織・器官レベルまでの構造や機能を理解している。</p> <p>生活習慣病、栄養疾患、消化器疾患、代謝疾患、感染症、免疫・アレルギー疾患、腎疾患等の概要や疾病の発症や進行を理解している。また、病態評価や診断、治療の基本的考え方を理解している。</p> <p>様々な対象や場面に応じた嗜好性、生体利用性等に配慮した食事設計について理解している。</p> <p>食品の調理性に関する基礎的技術および食事設計に関する応用力・発展力が身についている。</p> <p>食料の生産・流通・消費構造、海外から輸入されている食料に関わる特徴や問題点、食料の安全性をめぐる現状などを理解している。</p> <p>人間と食べ物の関わりについて、食品の歴史の変遷と食物連鎖の両面から理解している。食品の栄養特性、物性等について理解している。</p> <p>栄養面、安全面、嗜好面の各特性を高める食品の加工や調理の方法を理解して修得する。</p> <p>新規食品・食品成分が健康に与える影響、それらの疾病予防に対する役割を理解している。</p> <p>食品の安全性の重要性を認識し、衛生管理の方法を理解している。</p> <p>健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解している。</p> <p>エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義についての基礎を理解している。</p> <p>食事摂取基準の基礎的概念および各ライフステージにおける栄養状態や心身機能の特徴に基づいた栄養管理について理解している。</p> <p>各ライフステージの身体・栄養特性に応じた栄養管理が実践できる。</p> <p>栄養教育；健康や生活の質(QOL)の向上につながる学習者の主体的な実践力形成の支援に必要な健康・栄養教育の理論と方法を修得している。</p> <p>学習者に応じた栄養教育プログラムのマネジメントが実践できる。</p> <p>臨床栄養；疾病の治療や栄養・食事支援を目的として、個別の疾患・病態や心身機能の特徴に基づいた適切な栄養管理の方法について理解している。</p> <p>栄養療法の基礎ならびに疾患別の栄養食事療法について理解している。</p> <p>栄養療法の基礎ならびに疾患別の栄養食事療法について実践できる。</p> <p>わが国における健康・栄養に関する現状や問題および地域や集団の健康を維持・増進するのに必要な政策や社会制度について理解している。</p> <p>栄養上のハイリスク集団の特定とともに多様な健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントを実践できる。</p>	学士課程基礎教育科目		アカデミックスキルズA	●	B1	アカデミックスキルズA	●	1								
		学士課程基礎教育科目		アカデミックスキルズB	●	B1	アカデミックスキルズB	●	1								
		学科専攻科目	学科基礎科目	化学	●	A2	化学	●	2								
		学科専攻科目	学科基礎科目	生物学	●	A2	生物学	●	2								
		学科専攻科目	専門分野	社会生活と健康	社会福祉概論	●	栄	A2				社会福祉概論	●	栄	2		
		学科専攻科目	専門分野	社会生活と健康	公衆衛生学	●	栄	A2				公衆衛生学	●	栄	2		
		学科専攻科目	専門分野	人体の構造と機能	解剖生理学	●	栄	A2			解剖生理学	●	栄	2			
		学科専攻科目	専門分野	人体の構造と機能	運動生理学	●	栄	A2			運動生理学	●	栄	2			
		学科専攻科目	専門分野	人体の構造と機能	臨床病態学	●	栄	A2				臨床病態学	●	栄	2		
		学科専攻科目	専門分野	人体の構造と機能	微生物学	●	栄	A2				微生物学	●	栄	2		
		学科専攻科目	専門分野	給食の運営	調理学	●	家栄	A2	調理学	●	家栄	2					
		学科専攻科目	専門分野	給食の運営	調理学実習A	●	家栄	C1			調理学実習A	●	家栄	1			
		学科専攻科目	専門分野	給食の運営	調理学実習B	●	家栄	C1			調理学実習B	●	家栄	1			
		学科専攻科目	専門分野	給食の運営	食料経済学	●	栄	A2			食料経済学	●	栄	2			
		学科専攻科目	専門分野	食品と衛生	食品学	●	家栄	A2	食品学	●	家栄	2					
		学科専攻科目	専門分野	食品と衛生	基礎食品実験	●	家栄	C1	基礎食品実験	●	家栄	1					
		学科専攻科目	専門分野	食品と衛生	食品化学実験	●	家栄	C1	食品化学実験	●	家栄	1					
		学科専攻科目	専門分野	食品と衛生	食品プロセス学	●	家栄	A2			食品プロセス学	●	家栄	2			
		学科専攻科目	専門分野	食品と衛生	食品プロセス学実習	●	家栄	C1				食品プロセス学実習	●	家栄	1		
		学科専攻科目	専門分野	食品と衛生	食品機能学	●	栄	A2				食品機能学	●	栄	2		
		学科専攻科目	専門分野	食品と衛生	食品の官能評価・鑑別論	●	栄	A2			食品の官能評価・鑑別論	●	栄	2			
		学科専攻科目	専門分野	食品と衛生	食品衛生学	●	家栄	A2				食品衛生学	●	家栄	2		
		学科専攻科目	専門分野	食品と衛生	食品衛生学実験	●	家栄	C1				食品衛生学実験	●	家栄	1		
		学科専攻科目	専門分野	栄養と健康	基礎栄養学	●	家栄	A2	基礎栄養学	●	家栄	2					
学科専攻科目	専門分野	栄養と健康	基礎栄養学実験	●	家栄	C1	基礎栄養学実験	●	家栄	1							
学科専攻科目	専門分野	人体の構造と機能	生化学	●	家栄	A2	生化学	●	家栄	2							
学科専攻科目	専門分野	栄養と健康	応用栄養学A	●	家栄	A2	応用栄養学A	●	家栄	2							
学科専攻科目	専門分野	栄養と健康	応用栄養学B	●	家栄	A2			応用栄養学B	●	家栄	2					
学科専攻科目	専門分野	栄養と健康	応用栄養学実習	●	家栄	C1			応用栄養学実習	●	家栄	1					
学科専攻科目	専門分野	栄養の指導	栄養教育論A	●	家栄	A2			栄養教育論A	●	家栄	2					
学科専攻科目	専門分野	栄養の指導	栄養教育論B	●	家栄	A2			栄養教育論B	●	家栄	2					
学科専攻科目	専門分野	栄養の指導	栄養教育論実習A	●	家栄	C1				栄養教育論実習A	●	家栄	1				
学科専攻科目	専門分野	栄養の指導	栄養教育論実習B	●	家栄	C1				栄養教育論実習B	●	家栄	1				
学科専攻科目	専門分野	栄養と健康	臨床栄養学	●	家栄	A2			臨床栄養学	●	家栄	2					
学科専攻科目	専門分野	栄養と健康	臨床栄養学実習	●	家栄	C1				臨床栄養学実習	●	家栄	1				
学科専攻科目	専門分野	栄養の指導	公衆栄養学	●	家栄	A2			公衆栄養学	●	家栄	2					
学科専攻科目	専門分野	栄養の指導	公衆栄養学実習	●	家栄	C1				公衆栄養学実習(学内)	●	家栄	1				
学科専攻科目	専門分野	栄養の指導	社会調査法	●	家栄	A2				社会調査法	●	家栄	2				

学科・専攻名		健康栄養学科 食物栄養専攻		到達目標に対応する授業科目																				
組織のミッション		到達目標1(綱)		到達目標2(細)		科目区分1			科目区分2			科目区分3			1年		2年		3年		4年			
		ミッション(教育目標)・到達目標				授業科目			春			秋			春		秋		春		秋			
						科目名			科目名			科目名			科目名		科目名		科目名		科目名			
						必選 単位			必選 単位			必選 単位			必選 単位		必選 単位		必選 単位		必選 単位			
<p>給食経営管理：喫食者のQOLの向上を目指した円滑な給食運営のためのマネジメントの理論と方法を理解している。</p> <p>PDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルに基づき、経営資源GM(Man, Material, Money, Machine, Method)を最大限に活用した給食マネジメントを実践できる。</p> <p>専門性の統合：栄養士として必要な知識及び技能を有機的に結び付け、実践する能力が身についている。</p> <p>課題発見・問題解決：もてる知識と知恵を結集し、課題発見・問題解決に取り組む能力が身についている。</p> <p>フードスペシャリスト：流通・販売分野における食の専門職であるフードスペシャリストに必要な専門知識を身につけている。</p> <p>栄養教諭・家庭科教諭：学校の教員となるための知識と技能を修得している。</p> <p>栄養教諭として、学校給食管理・食に関する指導を行う力を修得している。</p> <p>家庭科教諭(中学校・高校)としての家庭科教育を行う力を修得している。</p> <p>学校教育現場における給食管理及び食に関する指導の具体的な内容を理解し実践する力を修得している。</p> <p>栄養教諭としての使命感や責任感、社会性、児童・生徒を理解する能力、食に関する指導力を修得している。</p> <p>学校教育現場における家庭科教育の具体的な内容を理解し実践する力を修得している。</p> <p>家庭科教諭としての使命感や責任感、生徒を理解する能力、家庭科に関する指導力を修得している。</p>	給食経営管理論	●	栄	A2																				
	給食経営管理実習A(学内)	栄	C1																					
	給食経営管理実習B(学外)(事前事後指導を含む)	栄	C1																					
	実践栄養管理研究	D2																						
	健康栄養研究	●	D2																					
	サイエンス英語	B1																						
	演習I	●	B1																					
	演習II	●	B1																					
	卒業論文	●	6																					
	フードスペシャリスト	フ	A2																					
	フードコーディネーター	フ	B1																					
	フードコーディネーターA	フ	B1																					
	フードコーディネーターB	フ	B1																					
	教職概論	教	A2																					
	教育原理A	教	A2																					
	教育原理B	教	A2																					
	教育心理学	教	A2																					
	教育社会学	教	A2																					
	教育方法論	教	A2																					
	教育課程論	教	A2																					
道徳教育の研究	教	A2																						
特別活動の研究	教	A2																						
教育相談論	教	A2																						
同和教育の研究	教	A2																						
学校食教育概論	栄	A2																						
学校食教育実践論	栄	A2																						
生徒指導の理論・方法	栄	A2																						
栄養教育実習(事前事後の指導1単位を含む)	栄	C2																						
教職実践演習(栄養教諭)	栄	B2																						
家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	家	A2																						
住居学(製図を含む。)	家	A2																						
家庭電気・機械(情報処理を含む。)	家	A2																						
被服学	家	A2																						
[被服構成学実習]	家	C1																						
保育学(家庭看護を含む。)	家	A2																						
小児保健学実習	家	C1																						
生徒・進路指導論	家	A2																						
家庭科教科教育法A	家	A2																						
家庭科教科教育法B	家	A2																						
家庭科教科教育法C	家	A2																						
家庭科教科教育法D	家	A2																						
教育実習指導	家	A1																						
教育実習	家	C4																						
教職実践演習(栄養教諭)	家	B2																						
介護等の体験の事前指導	家	A1																						
介護等の体験	家	C1																						